

ニュース断片

アメリカの補助医師制度 への提案

アメリカの科学アカデミー医学部会は、「医師ら保健チームの新しいメンバー：補助医師」と題する14ページの報告書を出した。現在医師が行っている診断などの業務を補助医師にゆだね、医師不足の状態を改善しようとする案である。

この補助医師は3つのタイプが考えられている。1つは、準医師 physician's associate とよばれる職種で、医師の監督のもとで診療をするが、ある程度の独立的医業が許される。2年の臨床的教育と現任訓練で養成しようとするものである。この養成コースに、医療関係の軍人(軍医と別)の退役者年間3万人をふりむけることも考えられる。2つ目のタイプは、専門的な補助医師で、たとえば腎透析専門の医師である。第3のタイプは、専門化し



ないプラクティカル・ナースと同じように、

一般的な医療をやる補助医師が考えられている。

以上の医師を実験的に養成する九つの学校が指定されている。

U. S. Dept. of HEW : *Public Health Reports*, Nov. 1970, Vol. 85, No. 11, p. 1012.

(前田信雄 国立公衆衛生院)

地球全体の汚染警告網への 国際的提案



昨年9月ローマでひらかれた国際生物学シンポジウムに提出された報告書にもとずいて、地球環境監視網 a global network for environmental monitoring (GNEM) が提唱された。これは、国際生物学計画 International Biological Program に加入している諸国によって運営されるものとしている。汚染拡大の早期警告システムつくるべく各国からのデータ収集をしようとするものである。この提案

は国際科学連合 ICSU で採択され、1972年に開催予定の国際連合人・生物環境研究協議会にだされることになっている。

American Journal of Public Health, Nov. 1970. Vol. 60, No. 11, p. 2226.

(前田信雄 国立公衆衛生院)